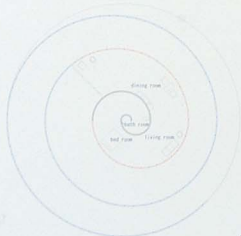


衣替える家

ひとは、暑ければ薄着をし、寒ければ厚着をして環境に適応している。同様に、日本の暮のすまいも季節や天候にあわせ、その形態を変化させながら、満ちてきた。迎撃の変化は風、光、音、熱などの感じ方を変化させるだけでなく、その空間を変化させるプロセスも身体にダイレクトに働きかけていた。

環境に合わせてすまいを衣替えさせるといふ「手間」が最も身体に訴えかけるのである。



plan 1:200



壁は風や光を通すメッシュ状の素材でそれらも換気にも兼ねると、雨を遮さない壁となる。また、全ての換気用のパネルに設置され、そのパネルに開いて自由に換気することができる。



■ 壁

風や音、匂いなどが強い壁をとり、家の中を駆け抜け、太陽のような半透明の空間をつくる。

■ 開口部

開口部によって壁を納めたり引き出したりの立上がり、高さによって壁の厚みや大きさを変化させ空間の調節をする。

■ 壁

高い壁が重なり合ってひとつの厚い壁となり、寒さに耐えるための小さな空間をつくる。

